



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 伯東株式会社
 コード番号 7433 URL http://www.hakuto.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 龍三郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 海老原 憲 TEL 03-3225-3412
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	72,269	5.1	1,708	△12.7	1,574	△21.3	1,105	△17.9
2019年3月期第2四半期	68,743	△3.5	1,957	3.3	2,000	△3.2	1,346	△14.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 248百万円 (△85.6%) 2019年3月期第2四半期 1,732百万円 (△36.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	53.78	—
2019年3月期第2四半期	64.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	94,697	54,267	57.3	2,640.21
2019年3月期	87,826	54,635	62.2	2,658.10

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 54,267百万円 2019年3月期 54,635百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2020年3月期	—	30.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	14.2	4,000	9.8	4,000	11.7	2,800	13.2	136.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	24,137,213株	2019年3月期	24,137,213株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	3,583,049株	2019年3月期	3,582,961株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	20,554,210株	2019年3月期2Q	20,877,848株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(会計方針の変更)	9
(表示方法の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済が雇用・消費活動が堅調さを保つ中、米中貿易摩擦の長期化による中国経済の減退や海外経済の動向により、景気の先行きに対しての不透明感が強まっております。

我が国経済は、中国経済の減速の影響等により特にアジア向け輸出や、設備投資が弱含み、良好な雇用環境はあるものの、国内景気は低い伸びが継続しております。

当社グループが主力事業を展開するエレクトロニクス業界においては、米中貿易摩擦の長期化により影響範囲が徐々に拡大、深刻化する懸念が強まっております。

このような状況の下、当社グループの電子部品事業においては、光通信関連向け、及び車載向け等の半導体デバイスの需要が好調に推移し、電子部品事業全体で前年同四半期より増収となりました。

電子・電気機器事業においては、前年同四半期に旺盛であったスマートフォン関連向けのプリント基板製造用露光装置に対する設備投資の減退及び計画延伸等により販売が伸び悩み、電子・電気機器事業全体で前年同四半期より減収となりました。

工業薬品事業においては、石油・石油化学産業向け重合禁止剤及び活性炭の需要は堅調に推移し、また、化粧品基剤の需要増により、前年同四半期より増収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は722億69百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

損益面につきましては、当第2四半期連結累計期間の連結売上総利益は91億34百万円（同2.2%減）となり、連結販売費及び一般管理費として74億26百万円（同0.6%増）を計上した結果、連結営業利益は17億8百万円（同12.7%減）、連結経常利益は15億74百万円（同21.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億5百万円（同17.9%減）となりました。

また、1株当たり四半期純利益は53円78銭となり、前年同四半期より10円73銭減少いたしました。

報告セグメント別の経営成績につきましては、次のとおりです。

[電子部品事業]

電子部品分野では、主に中国市場向けのエアコン等の白物家電の在庫調整により、モーター関連半導体デバイスの需要が低調となりましたが、新通信規格である5G関連、IoTなどの投資加速により、通信関連電子部品の販売が伸長いたしました。車載関連用途製品の需要は底堅く推移し、Windows7のサポート終了に伴う買換え需要も継続しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は568億71百万円（前年同期比8.3%増）となりましたが、為替変動及び利益率の高い分野の販売減少により、セグメント利益は6億42百万円（同24.7%減）となりました。

[電子・電気機器事業]

電子・電気機器分野では、スマートフォン製造関連向けプリント基板露光装置及びICパッケージ製造関連向けステッパー装置への需要が設備投資計画の延伸等により伸び悩みました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は97億77百万円（前年同期比10.3%減）、セグメント利益は5億38百万円（同15.7%減）となりました。

[工業薬品事業]

工業薬品分野では、紙・パルプ分野ではデジタル媒体の普及による世界的な抄紙需要減少傾向を受けて、製紙用薬品の販売が伸び悩みましたが、石油化学分野では底堅い消費を反映し、重合禁止剤、活性炭等の販売が堅調に推移しました。化粧品分野においても化粧品基剤バイオポリマーの販売が伸長しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は56億11百万円（前年同期比5.6%増）となりましたが、人件費の上昇に伴う製造コストや輸送コストの増加等により、セグメント利益は4億66百万円（同3.2%減）となりました。

[その他の事業]

当社の業務・物流管理全般の受託と保険会社の代理店を主たる業務としております。当第2四半期連結累計期間の売上高は3億50百万円（前年同期比1.5%増）、セグメント利益は12百万円（同26.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産が68億70百万円増加いたしました。これは主に、商品及び製品が49億3百万円、受取手形及び売掛金が11億79百万円増加したためであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して、72億38百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が48億40百万円増加したためであります。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して3億67百万円減少し、542億67百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が5億9百万円、為替換算調整勘定が3億70百万円減少したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは4億61百万円の支出、投資活動によるキャッシュ・フローは3億8百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは20億16百万円の収入となったため、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して11億67百万円増加し、当第2四半期末は87億76百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益15億78百万円、仕入債務の増加額55億50百万円等の収入要因がありましたが、たな卸資産の増加額50億51百万円、売上債権の増加額12億81百万円等により、営業活動によるキャッシュ・フローは4億61百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には仕入債務の増加等により14億26百万円の収入となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出1億26百万円、無形固定資産の取得による支出1億34百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは3億8百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には有形固定資産の取得による支出等により、2億82百万円の支出となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の返済による支出(純)22億51百万円等がありましたが、長期借入による収入55億円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは20億16百万円の収入となりました。なお、前年同四半期には、短期借入金の返済による支出(純)等により、19億86百万円の支出となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年5月8日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,608	8,776
受取手形及び売掛金	31,151	32,331
電子記録債権	5,981	5,701
商品及び製品	24,820	29,724
仕掛品	32	39
原材料及び貯蔵品	550	544
その他	1,784	2,194
貸倒引当金	△29	△91
流動資産合計	71,901	79,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	980	951
機械及び装置（純額）	2,069	1,950
土地	3,069	3,069
その他（純額）	519	827
有形固定資産合計	6,638	6,799
無形固定資産		
	325	390
投資その他の資産		
投資有価証券	8,446	7,740
繰延税金資産	142	167
その他	401	407
貸倒引当金	△30	△30
投資その他の資産合計	8,960	8,285
固定資産合計	15,924	15,475
資産合計	87,826	94,697

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,881	20,722
電子記録債務	2,742	3,124
短期借入金	7,733	6,427
リース債務	19	146
未払法人税等	896	465
賞与引当金	1,024	846
製品保証引当金	7	5
その他	2,346	2,173
流動負債合計	30,650	33,911
固定負債		
長期借入金	589	4,592
リース債務	45	197
繰延税金負債	1,489	1,325
役員退職慰労引当金	14	11
退職給付に係る負債	384	374
その他	16	16
固定負債合計	2,540	6,518
負債合計	33,190	40,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	7,289	7,289
利益剰余金	40,460	40,949
自己株式	△5,876	△5,877
株主資本合計	49,973	50,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,028	3,518
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	942	572
退職給付に係る調整累計額	△307	△286
その他の包括利益累計額合計	4,661	3,805
純資産合計	54,635	54,267
負債純資産合計	87,826	94,697

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	68,743	72,269
売上原価	59,406	63,134
売上総利益	9,337	9,134
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	2,355	2,357
賞与引当金繰入額	817	771
退職給付費用	247	219
その他	3,958	4,078
販売費及び一般管理費合計	7,379	7,426
営業利益	1,957	1,708
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	110	119
持分法による投資利益	14	—
その他	65	63
営業外収益合計	195	186
営業外費用		
支払利息	24	24
売上債権売却損	44	47
為替差損	74	230
クレーム処理費	3	—
持分法による投資損失	—	8
その他	4	9
営業外費用合計	152	319
経常利益	2,000	1,574
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	34	—
その他	4	4
特別利益合計	40	4
特別損失		
固定資産除売却損	1	1
倉庫移転費用	31	—
その他	0	0
特別損失合計	33	1
税金等調整前四半期純利益	2,007	1,578
法人税等	660	472
四半期純利益	1,346	1,105
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,346	1,105

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,346	1,105
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57	△510
繰延ヘッジ損益	39	1
為替換算調整勘定	367	△370
退職給付に係る調整額	35	21
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	385	△856
四半期包括利益	1,732	248
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,732	248

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,007	1,578
減価償却費	341	395
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1	△173
受取利息及び受取配当金	△114	△123
支払利息	24	24
持分法による投資損益 (△は益)	△14	8
投資有価証券売却損益 (△は益)	△34	—
固定資産除売却損益 (△は益)	17	1
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△15	5
売上債権の増減額 (△は増加)	△200	△1,281
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△823	△5,051
仕入債務の増減額 (△は減少)	711	5,550
その他	△72	△650
小計	1,829	282
利息及び配当金の受取額	127	135
利息の支払額	△25	△23
法人税等の支払額	△505	△855
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,426	△461
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△188	△126
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△2	△134
投資有価証券の取得による支出	△117	△37
投資有価証券の売却による収入	41	—
その他	△19	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△282	△308
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	31,005	47,449
短期借入金の返済による支出	△31,920	△49,700
リース債務の返済による支出	△9	△64
長期借入れによる収入	—	5,500
長期借入金の返済による支出	△537	△551
自己株式の増減額 (△は増加)	18	△0
配当金の支払額	△542	△616
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,986	2,016
現金及び現金同等物に係る換算差額	129	△79
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△713	1,167
現金及び現金同等物の期首残高	9,245	7,608
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	371	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,904	8,776

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より一部の海外子会社においてIFRS16号「リース」を適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。当該会計基準の適用にあたり、当社グループは経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結貸借対照表において有形固定資産の「その他」が271百万円、流動負債の「リース債務」が125百万円、固定負債の「リース債務」が149百万円それぞれ増加しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	52,523	10,899	5,312	345	69,080
セグメント利益	852	639	481	17	1,991

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	56,871	9,777	5,611	350	72,611
セグメント利益	642	538	466	12	1,660

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

売上高	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
報告セグメント計	69,080	72,611
セグメント間取引消去	△336	△342
四半期連結財務諸表の売上高	68,743	72,269

(単位: 百万円)

利益	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
報告セグメント計	1,991	1,660
のれんの償却額	△5	△5
その他の調整額	△28	53
四半期連結財務諸表の営業利益	1,957	1,708

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。